

たかおか

市議会 だより

No.56 9月定例会号
令和元年(2019年)11月1日発行

9月定例会のあらまし	2P
議決結果一覧	3P
代表質問	4P
一般質問(一括質問・一括答弁)	5P
委員会の動き	10P

新高岡駅をご利用ください!



「大銀杏に抱かれし名刹」(高岡「いいね」フォトコンテスト応募作品) 撮影:川口 正光

編集■広報広聴委員会

発行■高岡市議会

〒933-8601 高岡市広小路7-50

TEL 0766-20-1531

FAX 0766-20-1534

E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



市議会ホームページから、過去の本会議の会議録の閲覧・検索ができます。
本会議録画映像をパソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

高岡市議会

🔍 検索



補正予算・条例など

32議案を可決・同意

代表・一般質問に16人が登壇

9月定例会は6日に開会し、30日に閉会しました。

市長から令和元年度一般会計補正予算をはじめ36議案が提出され、うち32議案を可決・同意し、平成30年度決算の認定をはじめ4議案を継続審査しました。

今定例会では、代表質問に1会派、一般質問に15人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・同意した 主な議案等

条例

■印鑑条例の一部改正

印鑑登録証明事務処理要領の改正に伴い、所要の改正を行うもの。

- (1)登録できる印鑑に、旧氏及び旧氏の一部を組み合わせたものを追加

(2)住民票に旧氏が記載されている場合、印鑑登録証明書に当該旧氏を記載

(施行期日)

令和元年11月5日

■公営バス条例の一部改正

公営バスの利用状況等を踏

まえ、乗車券の種別を見直すもの。

- (1)定期券を廃止

(2)1日券(200円)を新設

■市営駐車場条例の一部を改正する条例の一部改正

中心市街地の状況変化に対応するため、御旅屋駐車場及びオタヤグリーンパークキングの料金改定を行うもの。

- (1)無料時間

(現行) 20分

(改正後) 60分

(2)基本料金

(現行) 20分を超え60分まで

(改正後) 60分を超え90分まで

(3)追加料金

(現行) 324円

(改正後) 100円

(施行) (現行)

(現行)

- ・午前7時～午後10時
30分ごとに108円
- ・午後10時～午前7時
120分ごとに108円

(改正後)

30分ごとに100円

(4)上限額

(現行)

24時間まで 1080円

24時間を超える場合

864円/24時間

(改正後)

24時間まで 1000円

24時間を超える場合

1000円/24時間

■都市公園条例の一部改正

新たに都市公園として整備する高岡駅北口交流広場にかかる所要の改正を行うもの。

(1)使用できる時間

午前9時～午後11時

(2)使用料

使用区分に応じて設定

(3)音響等を伴う行為の時間制限

午前9時～午後8時

(施行期日)

令和元年11月25日

■特定公共賃貸住宅条例の一部改正

御旅屋特定公共賃貸住宅(エルパセオハイツ)に单身世帯も入居できるように所要の改正を行うもの。

青年の家を幅広い年齢層の

市民に利用される施設とするため、名称及び設置目的の改正を行うもの。

(1)名称

高岡市文化芸術館

(2)設置目的

生涯学習の推進及び文化芸術活動の振興を図るため

(施行期日)

令和2年4月1日

■市立学校設置条例等の一部改正

五位中学校区の再編統合及び国吉中学校区における義務教育学校への改編にあたり、所要の改正を行うもの。

(1)国吉中学校区

国吉小学校・国吉中学校

↓国吉義務教育学校

(佐加野2384番地)

(2)五位中学校区

東五位小学校・石堤小学校

↓五位小学校

(内島3516番地)

(施行期日)

令和2年4月1日

その他

■工事請負契約の締結

(1)(仮称)新防災センターA棟
新築工事
契約金額 3億1130万円

(2)(仮称)新防災センターB棟
新築工事
契約金額 2億3045万円

新築工事

契約金額 2億3045万円

契約金額 2億3045万円

契約金額 2億3045万円

■財産の取得

災害対応特殊消防ポンプ自動車(更新)
取得価格 3848万円

■財産の処分(土地)
ICパーク高岡の用地を3社に売却するもの。

総面積 40357.71㎡
売却価格 7億5081万円

人事

■教育委員会委員

森 美和氏(再任)

(二上)

■公平委員会委員

内島 正義氏(再任)

(西町)

■人権擁護委員

吉川 佳子氏(再任)

(川原本町)



進められる学校の再編統合 国吉義務教育学校

議決結果一覧表（令和元年9月定例会）

【議案】

番号	件名	結果
第113号	令和元年度高岡市一般会計補正予算（第2号）	可決
第114号	令和元年度高岡市介護保険事業会計補正予算（第2号）	
第115号	監査委員条例等の一部改正 「監査委員条例の一部改正」 「市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正」 「上下水道事業の設置等に関する条例の一部改正」	
第116号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例 附則「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正」 「技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正」 「職員の懲戒の手續及び効果に関する条例の一部改正」	
第117号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 「人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正」 「職員の育児休業等に関する条例の一部改正」 「公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正」 「外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部改正」	
第118号	職員の分限に関する手續及び効果に関する条例の一部改正	
第119号	職員の給与に関する条例の一部改正	
第120号	手数料条例の一部改正	
第121号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	
第122号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	
第123号	印鑑条例の一部改正	
第124号	公営バス条例の一部改正	
第125号	集会所条例の廃止	
第126号	市営駐車場条例の一部を改正する条例の一部改正	
第127号	都市公園条例の一部改正	
第128号	基礎集落圏防雪センター条例の廃止	
第129号	特定公共賃貸住宅条例の一部改正	
第130号	青年の家条例の一部改正	
第131号	市立学校設置条例等の一部改正 「市立学校設置条例の一部改正」 「学校教育振興基金条例の一部改正」 「八塚教育振興基金条例の一部改正」 「暴力団排除条例の一部改正」 「公民館条例の一部改正」 「夜間照明施設の使用料に関する条例の一部改正」	
第132号	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	
第133号	上下水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	
第134号	水道事業給水条例の一部改正	
第135号	下水道条例の一部改正	
第136号	工事請負契約の締結（（仮称）新防災センターA棟新築工事）	
第137号	工事請負契約の締結（（仮称）新防災センターB棟新築工事）	
第138号	財産の取得（災害対応特殊消防ポンプ自動車）	
第139号	財産の処分（土地）	
第140号	財産の処分（土地）	
第141号	財産の処分（土地）	
第142号	平成30年度高岡市水道事業会計未処分利益剰余金の処分	
第143号	平成30年度高岡市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	継続審査
第144号	教育委員会の委員の任命	同意
第145号	公平委員会の委員の選任	
第146号	人権擁護委員の推薦	

議会日誌

6月定例会後～9月定例会前

- 6月27日 広報広聴委員会
- 7月 8日 広報広聴委員会
- 16日 民生病院常任委員会
産業建設常任委員会
- 18日 まちづくり対策特別委員会
- 30日 総務文教常任委員会
- 30日～8月1日 民生病院常任委員会行政視察
- 8月 2日 歴史文化・観光対策特別委員会
- 8・9日 産業建設常任委員会行政視察
- 19日 代表者会議
- 20・21日 総務文教常任委員会行政視察
- 29日 議会運営委員会
代表者会議
- 9月 2日 正副常任委員長会議

9月定例会

- 9月 6日 議員協議会
本会議（提案理由説明）
議案説明会
- 12日 本会議（代表質問）
- 18日 議会運営委員会
本会議（一般質問（一括））
- 19日 本会議（一般質問（一括））
- 20日 本会議（一般質問（一括））
水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 24日 代表者会議
民生病院常任委員会
産業建設常任委員会
総務文教常任委員会
- 25日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議（議案など議決）
- 30日

【認定】

番号	件名	結果
第1号	決算の認定 （平成30年度高岡市高岡市民病院事業会計決算） （平成30年度高岡市水道事業会計決算） （平成30年度高岡市工業用水道事業会計決算） （平成30年度高岡市下水道事業会計決算）	継続審査
第2号	決算の認定 （平成30年度高岡市一般会計歳入歳出決算） （平成30年度高岡市国民健康保険事業会計歳入歳出決算） （平成30年度高岡市荻布奨学金事業会計歳入歳出決算） （平成30年度高岡市駐車場事業会計歳入歳出決算） （平成30年度高岡市工業団地造成事業会計歳入歳出決算） （平成30年度高岡市介護保険事業会計歳入歳出決算） （平成30年度高岡市後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算）	

【議員別賛否一覧】（賛否が分かれた議案等のみ）

○…賛成 ×…反対 ※…議長は表決に加わりません。

議員名	高瀬	角田	篠井	林	山口	石須	中村	高岡	酒井	横田	藪中	上田	吉田健太郎	中川加津代	坂林	本田	福井	金森	金平	樋詰	狩野	曾田	水口	高島	大井	島
議員番号	充子	悠紀	哲治	貴文	泰祐	大雄	清志	宏和	善広	誠二	一夫	武	太郎	代	永喜	利麻	直樹	一郎	直巳	和子	安郎	康司	清志	義一	正樹	起也
議案 第113号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※	○	○	○	○	○
議案 第122号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※	○	○	○	○	○

代表質問

今定例会では、自民同志会の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



自民同志会
数中 一夫

令和2年度当初予算編成

問 現在取り組んでいる補助金の見直しにあたり、一律的部分的削減ではなく、しっかりと精査し、大胆かつ抜本的に見直す必要があるのでは。

市長 持続的な財政構造の確立を目指す財政健全化への取り組みの中で、中長期的・統一的な観点から、補助金の見直し基準の明確化や透明性確保を図るため、年内を目標に、「補助金の基本的な考え方（補助金ガイドライン）」を策定することとした。この補助金ガイドラインにより、補助金の目的や対象、使途、補助率等を明確にし、終期の設定と定期的な見直しを徹底したい。その際、事業の経費削減に止まらず、補助対象事業の施策全般における課題について、しっかりと精査し、制度に立ち入った抜本的な改革を進め

たい。

中心市街地の賑わい創出

問 御旅屋セリオの空きスペースを、令和元年度内に全て埋めるといふ強い覚悟が必要と考えるが、その決意は。

市長 御旅屋セリオは、中心市街地の賑わいづくりにとつて欠かすことのできない重要な拠点であり、ここに生じた貴重なスペースは、都心軸への都市機能の集約や、コンパ



御旅屋セリオの空きスペース対策を

クト・アンド・ネットワークの実現に有効な場所として活かしたい。このため、子育て支援の拡充や、多様な交流を生み出す場づくりを進めることで、この場所から賑わいを生み出し、まちなかの活性化を図りたい。令和元年10月には、新たな体制を発足させ、公益的機能導入の具体的な作業を進めたい。今後、公益的機能の導入やテナント誘致について、令和元年度内に一定の目処がつけられるよう最大限の努力を重ねたい。

学校の再編統合の推進

問 学校の再編統合の取り組みを、本市の最優先課題として、スピード感を持ち、推進すべきと考えるが、その決意は。

市長 教育委員会では、「小中学校の配置の基本的な方向」に沿って、対象の中学校区において懇談会などを開催している。これらを通じ、保護者や学校関係者、地域の皆様にご理解をいただきながら、設置場所や開設時期等について

具体的な協議を進め、令和元年度内に、一定の方向を固めることとしている。また、再編統合に伴い、必要な教育環境の整備について、元年度は、五位中学校区の新小中学校の開設や国吉中学校区の義務教育学校の開設に向けた予算を計上している。今後とも、機会を逸することなく学校再編統合の取り組みを最優先課題として行いたい。

「令和」時代の地域振興

問 新元号「令和」の発表以降、万葉関連施設に訪問者・観光客が増加しているが、誘客の機会と捉え、旅行商品としてのPR、売り込みをさらに強化しては。

産業振興部長 新元号の発表以降、首都圏や関西圏の大手旅行会社が本市を視察した際には、高岡古城公園内で万葉集朗唱の実演を披露するなど、万葉関連スポットと組み合わせた周遊ルートを旅行会社に強く売り込んできた。その結果、大手旅行会社1社で万葉集の朗唱に参加するツアーの催行が決定している。また、県内の万葉故地を巡るツアーにおいては、企画当初から積極的に企画し、旅行会社10数社との交渉のなかで、勝興寺

や道の駅雨晴など、伏木・雨晴地区の万葉関連施設への立ち寄りを勧めてきた。その結果、市内を周遊するツアーの商品化が実を結びつつある。今後も、県や観光協会等との連携を図りながら、首都圏、関西圏の旅行会社への出向宣伝や商談会に積極的に参加し、全国各地からより多くの観光客が訪れるよう、誘客に向けた取り組みを強化したい。

「未来高岡」総合戦略

問 次期総合戦略には、従来の枠組みを維持・継続するだけでなく、新たな視点に重点を置いた施策を推進する必要があると考えるが、見解は。

市長 次期戦略では、特に「ひと」の創生に重点を置いて、地方創生を推進することとし、小中一貫教育を見据えた学校再編の円滑な推進を図るとともに、IoT、AI等をはじめとした未来技術の積極的活用を図りたい。これらに加え、人口減少下においても持続可能で活力ある地域づくりを進めるため、限られた資源を最大限に活用して、地域コミュニティの維持・強化や、広域連携の推進の視点も取り入れ、次期戦略の策定に向けて取り組みたい。

一般質問

(一括質問・一括答弁)

今定例会では、15人が市政全般にわたり一括質問・一括答弁方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



中村 清志
自民同志会

本市の魅力発信

副市長 シティプロモーション活動の推進についての考えは。

市長 行政の各分野における魅力発信の積極的展開に併せて、市民主体のPRアンバサダー事業を先行的な取り組みとしてプロモーションの充実を図り、シビックプライドの醸成や、地域イメージの確立を目指したい。また、これら官民一体のプロモーションを通じて、移住・居住人口、交流人口や関係人口の拡大につながるよう努めたい。

収益を生む仕組みづくり

副市長 バーベキューやスポーツなどを楽しむスペースを河川敷公園に設置し、収益を生む仕組みを検討しては。

都市創造部長 本市の都市公園は、市民の健康増進や憩いの場として、誰でも自由に利用できる施設となっているが、

営利目的の利用や、利用者を限定する場合には使用料を徴収している。公園の管理水準を適正に維持するため、公園の使われ方に応じた使用料徴収の在り方を検討したい。

応急対策用資機材の備蓄

副市長 民間との連携を強化し、ブルーシートや土嚢などの備蓄を更に推進しては。

総務部長 大規模災害時には、自治体間の災害時相互応援協定や民間団体と物資供給等の協定に基づき、不足する物資の提供を受けることとしている。今後とも、「自分の身は自分で守る」という意識を促し、個人備蓄を促進するとともに、公的備蓄についても、協定団体と連携を強化し進めたい。



角田 悠紀
自民同志会

中心市街地の活性化

副市長 御旅屋セリオへ入居を予定する公益施設について問う。
(1)裸足で走り回れるような屋



地場産業の振興拠点 高岡地域地場産業センター

内の遊び場を設置しては。
(2)高岡地域地場産業センターの移転が現実化した場合、中心市街地の活性化に関し、市として期待する役割は。
産業振興部長 (1)天候を気にすることなく、子どもたちが伸び伸びと活動し、親がそれを安心して見守れるような子育てを応援する場を検討している。今後、民間の事業ノウハウなども取り入れながら、機能整備を図りたい。
(2)従来の車や観光バスによる来館者に加え、周辺の古城公園や高岡大仏等を訪れる観光客の方や、御旅屋セリオに別の目的で来られた方の来館を

期待している。また、同センターが拠点となり、伝統技術に触れていただくことにより、滞在満足度の向上及び本市での滞在が長時間になることも期待している。

学童保育の充実

副市長 民間学童の誘致や支援策を検討すべきでは。

福祉保健部長 学童保育のニーズ調査の結果、多様な学童保育サービスの選択肢を増やしていくことが求められており、民間事業者が事業展開しやすい環境を整えていくことが大切だと考えている。今後、他都市の先進事例や、地域が運営する放課後児童クラブとのすみ分けやバランスなども考慮しながら、サービスの選択肢を広げる効果的な支援策を検討したい。



金平 直巳
日本共産党高岡市議団

市民の移動手段の確保

副市長 コミュニティバスの早急な運行を。

副市長 高岡駅を中心に周辺市と拠点間の交通ネットワークが構築されており、このネットワークにアクセスできる

よう、地域バスや地域タクシー等の市民協働型の交通システムの提案を行っている。今後これらの導入に向け、普及・啓発に努めたい。

生活援助サービスの在り方

副市長 要介護1・2の軽度者が利用する生活援助サービスを保険給付から除外する動きに反対を。

福祉保健部長 国では、要介護1・2の方が対象となる生活援助サービスは、利用者の状態や地域の実情に応じて、住民やNPO等による提供が望ましく、介護予防・日常生活支援総合事業へ移行する方向性を示している。今後、全国市長会を通じ、移行については慎重を期すことなどを要望し、今後の議論を注視したい。

万全の風水害対策

副市長 停電対策を含めた、風水害対策に万全の対策を講じるべきでは。

副市長 平時から水防設備の点検や危険箇所の巡視、避難情報の発信や避難所の運営訓練などを行い、毎年の水防訓練と総合防災訓練では実災害を想定した訓練を重ねている。また、今年の台風被害によるライフラインの復旧の遅れなど、新たな事例について検証

して関係機関と情報を共有し、今後の対策に活かしたい。



上田 武
社民党議員団

御旅屋セリオの活用

副市長 高岡地域地場産業センターが、付近に無料駐車場を持たない御旅屋セリオへ移転しても、中心市街地の賑わいを生み出せないと考ええるため、より慎重に検討すべきでは。

産業振興部長 移転により、モノの消費に加え、コトの消費を提供する中核となり、新たな中心市街地の賑わい、活性化が生み出されると考える。

県営施設の誘致促進

副市長 武道館機能を有する多目的施設を本市に設置するよう県に対し強く求めては。

副市長 平成28年に県が示したアリーナ構想に対して、「県西部の交流人口の拡大へ向けた施設整備も視野に入れた検討」を県に要望してきた。県議会において、知事から「新たな施設等について関係方面と十分協議し、適切に対処したい」との発言があったと聞いており、市としては、その動向を注視したい。

園児等の安全対策の徹底

副市長 園児の散歩ルートや通学路について、講じてきた安全対策と今後の取り組みは。

副市長 令和元年6月には、園児等が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検を各関係施設に依頼し、対策が必要と思われる危険箇所を抽出、把握した。また、通学路についても、危険箇所の抽出と学校や保護者、地域住民、関係機関等による通学路の合同点検を毎年実施している。今後、合同点検で抽出された危険箇所については、国・県を含む関係機関と協議し、交通安全対策を実施していく。



酒井 善広
自民同志会

広域連携の更なる推進

市長 本市では、広域連携の推進を次期総合戦略における重要な視点として掲げ、圏域全体の経済成長・住民サービスの向上を目指すこととしている。地域間連携を展開し、

将来にわたって持続可能な地域づくりの推進に努めたい。

地域タクシーと地域バス

副市長 「市民と市政」に掲載された地域タクシーと地域バスの詳しい紹介についての反響は。また、市民協働型の地域交通システム構築に向けての今後のスケジュールは。

副市長 「市民と市政」に掲載したことにより、複数の地域から制度活用に向けて、前向きな反応や相談を受けている。導入にあたっては、地域の実情やニーズに応じて、きめ細やかな対応が必要と考えている。

福祉タクシー制度の充実

副市長 年々増加する高齢者及び重度心身障害者等の交通弱者への交通手段を確保し、更なる福祉の増進を図るため、既存の制度の更なる充実を図るべきと考えるが、見解は。

福祉保健部長 障がい等理由に、介助なしでの公共交通利用が困難な方等を対象に、医療機関等への送迎支援を目的とした福祉タクシー事業を実施している。対象とする方の障がいの程度や介護の状態について実態に即した基準の見直しを実施するなど、適正な制度運営に努めたい。



山口 泰祐
自民同志会

効果的なプロモーション

副市長 市が主導して制作してきた動画の整理を含め、プロモーションビデオを刷新しては。

副市長 歴史や文化資産などが息づくなかで暮らす高岡の今様を滝田洋二郎氏ならではの映像美により、本市の魅力が凝縮されたプロモーションビデオに加え、PRアンバサダーが制作した市民感覚の新たな視点の動画を最大限に活用し、効果的なプロモーションを積極的に展開したい。

「おもてなし」の支援策

副市長 観光客への「おもてなし」に力を入れる民間団体等に具体的な支援策を設けては。

産業振興部長 観光事業者等で構成される「たかおか観光戦略ネットワーク」では、令和元年度から旅行商品化を目指す飲食メニュー又は土産品を開発する市内の民間団体や事業者等に対し、その経費の一部を助成する制度を設けている。今後はこの制度を活用してもらえよう、関連事業者等への周知を図りたい。



安心して楽しめるメルヘン広場を

安心して利用できる広場

副市長 御旅屋セリオ横のメルヘン広場を幼い子どもたちが安心して楽しめるよう、ソフト面及びハード面からの仕掛けを検討しては。

都市創造部長 市や地元商店街などで構成する実行委員会では、これまで定期的にイベントでメルヘン広場を利用している。引き続き、これらの取り組みを支援するほか、実行委員会をはじめ利用者の意見を伺い、幼い子どもたちが安心して楽しめる空間となるよう対策を検討したい。



本田 利麻
自民同志会

教育環境の充実

副市長 本市の教育について問う。

(1)本市の中学校でも積極的に遠隔授業を実施すべきと考えが、見解は。
(2)小学校での英語教育に際し、デジタル教科書の導入に向けた考えは。
(3)スクール・サポート・スタッフについて、現場からはどのような意見が出ているか。また、今後の考え方は。

教育長

(1)遠隔教育の意義としては、全国どこにおいても、専門分野の教員等による質の高い教育の機会を得ることができ、また、海外の生徒など幅広く多様な人々との交流の機会を設けることができること、さらには、不登校児童生徒や病気療養児など、通学が困難な児童生徒にとって学習機会を確保できることなどが挙げられる。今後、国の動向を注視しながら、実証実験など、整備に向けて活用できる機会があれば積極的に取り組んで行く。

(2)デジタル教科書の導入には、英語教育を推進する国の配慮があつてしかるべきと考えるが、令和2年度に向け準備をしていかなければならないと考えている。

(3)スクール・サポート・スタッフ配置校からは、学級担任や養護教諭が児童生徒と向き合う時間が確保できるようにな

ったことや時間外勤務時間の減少等の効果があつたと聞いている。配置は教員の多忙化解消に効果的であることから、県教育委員会へは、来年度以降の増員を要望したい。



林 貴文
自民同志会

地域福祉の推進

地域住民を主体とする地域包括ケアシステムを積極的に推進すべきと考えるが、見解は。

福祉保健部長

現在、JCH O高岡ふしき病院を中心に、伏木・古府・太田地区の医療介護、福祉分野の関係団体が連携した地元発信の取り組みが、「高岡ふしき地域包括ケア講座」という住民主体の先進的なモデルとして行われている。本市としては、地域住民の健康増進、介護予防に資する地域主体の新たなシステムの構築が他の地域にも広がることを期待している。

インバウンド対策

勝興寺参道において、フリーWiFi等のインバウンド対策が必要と考えるが、見解は。

交流人口の拡大はインバウンドをいかに引き込むかにかかつており、今後の観光拠点となる地域においては、様々な手法を工夫し、早急にICT環境の整備を図ることが必要と考えている。

景勝地の賑わい創出

本市の代表的な景勝地としてますます期待が高まる太田地区において、今後の賑わい創出への取り組みは。

産業振興部長

大手旅行会社に対し、旅行商品の素材として、国泰寺、勝興寺の特別拝観、道の駅雨晴への立ち寄り提案するなど、旅行商品造成に向け、売り込んでいるところである。更なる誘客を促進し、太田地区の賑わい創出につなげたい。



高岡 宏和
自民同志会

牧野河川公園の早期整備

公園の整備状況と今後の整備スケジュールは。

都市創造部長

現在、多目的広場の整備のほか、アクセス道路の用地買収を進めている。既存公園の長寿命化や維持管理のため、当初計画の令和4



整備が進む牧野河川公園

年度までの事業完了は難しいが、完成した箇所からの部分供用を検討したい。

防災情報の収集手段

地デジのdボタンを利用した防災情報や、民間防災アプリ等を市民に紹介しては。

総務部長

年齢やスマートフォンなどの所有の有無などについて個人差があることから、高齢者には比較的操作の簡単なテレビのデータ放送が有効と考えており、普及・啓発を図りたい。また、スマートフォン利用者には防災アプリを紹介したい。

持続可能な社会システム

「小さな拠点」づくりの推進について早急に研究し、市

民に情報提供をすべきでは。

次期総合戦略に新たに「地域コミュニティの維持・強化」の視点を取り入れたいと考えており、その施策・事業を組み立てるに当たり、「小さな拠点」づくりは、これからの地域の在り方の一つと捉えている。また、これまで「小さな拠点、住民主体のまちづくり」などをテーマに県西部6市の自治会長を対象とした研修会を開催し、情報提供を行ってきたり、引き続き、連合自治会と連携を図り、各地域で議論が広がるよう情報提供に努めたい。



吉田 健太郎
公明党

就職相談体制の充実

就職氷河期世代の就労対策について、インターネット環境に相談窓口を開設し、対象者の声が届きやすい体制づくりをすべきでは。

産業振興部長

今後、国においては、一元的な案内や相談にメール等で対応し、必要に応じて、地元の地域若者サポートステーションへつなげる体制を新たに整備することとしている。

*「小さな拠点」づくり：地域で暮らし続けるために、地域住民が自治体や事業者、各種団体と協力、役割分担をしながら、各種生活支援機能の集約、確保や地域の資源を活用し、仕事・収入を確保する取り組み。

災害支援の受け入れ

図 受援計画の策定を進めるべきと考えるが、見解は。

市長 現在、国のガイドライン等を踏まえ、令和2年度を目途に受援計画の策定を進めている。この計画では、災害対策本部に受援班を置き、受援に関する業務を一元的に行うとともに、あらかじめ災害時に不足が見込まれる人的・物的資源を把握・想定し、支援の受け皿を整備したいと考えている。

ネットトラブルの現状

図 子どもたちのネットトラブルの現状及び把握方法は。

教育長 令和元年度の調査では、「友達との人間関係」「個人情報への無断使用」といったネットトラブルで困った経験を持つ割合は、高学年になるほど高くなり、中学3年生で3%と1クラスに1人程度となっているが、実態を正確に表しているか、さらに検証が必要である。把握方法は、教員が子どもの変化をしっかりと捉えること、さらには家庭との連携を密にし、子どもからのサインを見逃さず、話を聞くことが第一歩と考える。



茂井 哲治
自民同志会

市が持つ資源の有効活用

図 新たな財源を確保するために、企業や団体、個人に対し、街路灯や街路樹への記念杭の募集、設置を行っている。

都市創造部長 記念杭の設置については、根回し等の道路附属物や地下埋設物の関係上、設置できないことも想定されることから、実施に向けては、取り付けが容易なプレート等による掲示にするなど、他の自治体の事例を参考に、本市に適した方法について検討したい。

菅笠づくりの担い手育成

図 菅笠づくりの技術継承の



菅笠づくりの技術継承を

ため、担い手の育成が急務であるが、今後の対応は。

福岡総合行政センター所長 平成21年度に設立した「越中福岡の菅笠製作技術保存会」と連携し、笠骨・笠縫いの製作技術を基礎から学ぶ後継者育成講座を実施している。今後も関係団体や関係者と連携し、菅笠製作技術の継承に努めたい。

不登校児童の学力維持

図 インターネット技術を活用して、不登校期間の学力維持を図る仕組みを構築している。

教育長 文部科学省では、ICTを活用した遠隔教育の有効性を認めているが、実際の学校のICT環境が追いついていない。引き続き、国の動向を注視しながら、規模が拡大している民間の事業者が提供するネット講座等の活用も含め、不登校児童生徒の多様な学びの可能性が広がるよう努めたい。



中川 加津代
自民同志会

御旅屋セリオの再生

図 御旅屋セリオ内に導入する公益的機能として、子育てを応援する場の整備を検討している。

ているとのことだが、どのような効果を期待しているのか。

産業振興部長 子育て支援機能を充実することで、親子連れをはじめ、まちなかに大勢の方を呼び込み、そのシャワー効果による経済活動の活性化、賑わい創出に繋げたい。

歩行者に優しい都市整備

図 ウォーカブル推進都市に名乗りを上げ、歩行者に優しい事業を実施するなど、まちなかを歩く空間として整備を図るべきでは。

都市創造部長 これまで、たかおかストリート構想に基づき案内や誘導サインの設置など、まちなかの歩行者空間に関する取り組みを重点的に実施してきた。ウォーカブル推進都市は、車道を縮小して歩道を拡張するなど、官と民の連携による取り組みのため、先行事例を踏まえ、整備効果や課題等を研究したい。

高岡駅瑞龍寺口周辺の開発

図 旧ダイエー跡地の民間開発において、民間事業者と対話し、広く意見や提案を求め、柔軟な対策を練っては。

都市創造部長 旧ダイエー跡地については、開発主体である民間事業者により市場調査が実施されると考えている。

高岡駅東地区と旧ダイエー跡地とが相互に補完し、相乗効果を生む都市機能が導入されるよう、民間事業者との意見交換や情報提供を図りたい。



石須 大雄
社民党議員団

時間外労働の縮減

図 市職員の時間外労働の実態について問う。

(1) 時間外労働が平成30年度で360時間を超えた職員の数と月45時間を超えた延べ人数は。

(2) 時間外労働が過労死レベルと言われる月100時間を超えた延べ人数は。

総務部長 (1) 年間360時間を超えた人数は74人、月45時間を超えた延べ人数は571人である。29年度と比較すると、年間360時間超えの人数で29人、月45時間超えの人数で200人の減少となった。(2) 平成30年度において超過勤務時間が月100時間を超えた延べ人数は71人である。29年度と比較すると38人減少した。

世界で最も美しい湾クラブ

図 湾クラブ世界総会の開催

*ウォーカブル推進都市：「居心地がよく歩きたくなるまちなか」の形成を目指し、街路や公園などの公共空間を最大限に活用することで、まちの個性を高め、歩きたくなるまちづくりを推進している都市。

で本市が期待することは。

市長 開催に合わせて実施する体験型見学会では、瑞龍寺や高岡大仏等の歴史・文化遺産めぐりや鋳物制作体験を通じて、海の景色だけでなく、「歴史・文化」「ものづくりの技術」など、本市が持つ魅力や奥深さを感じていただきたい。世界各国の方々に、雨晴海岸はもとより、高岡が持つ様々な魅力をPRできることは、大きなチャンスと考えている。「日本の海岸と言えば高岡・雨晴」「また高岡に来たい。」と思ってもらえるよう、雨晴海岸をはじめ高岡のブランド価値を高め、さらに発信を強めていく機会としたい。



高瀬 充子
日本共産党高岡市議員

給食副食費の免除

副市長 幼児教育・保育の無償化に伴い、給食副食費の免除制度を創設しては。

市長 副食費の取り扱いについては、国と同様に、原則、保護者が負担すべきものと考えており、現時点では、すべての子どもを対象とした副食費の免除制度の創設は考えていない。

市営住宅の入居条件緩和

副市長 入居の際に必要な連帯保証人の免除を検討しては。

都市創造部長 高齢化率が全国よりも高い本市では、単身高齢者等の増加により、連帯保証人を確保することが困難になっていくことが見込まれる。そのため、高齢者等が市営住宅に入居できないといった事案が発生しないよう、連帯保証人制度の在り方について検討したい。

イノシシ、クマの出現状況

副市長 平成30年度と令和元年度の出現状況は。また、今後の対応方針は。

産業振興部長 平成30年度は、イノシシ9件、クマ4件、令和元年度は8月末時点で、イノシシ8件、クマ7件の目撃情報があった。今後の対応については、イノシシ・クマに餌があると学習させないよう、野菜や果樹などの農作物を確実に収穫するなど、生息環境管理を個人ではなく、地域全体の取り組みとして行うことが重要であり、地元自治会をはじめ、関係機関と一体となって取り組んでいるところである。



横田 誠二
自民同志会

電子行政の推進

副市長 これまでフェイスブックやツイッターで行政情報の発信に努め、令和元年度からは、スマートフォン利用者向けにプッシュ通知機能のある「カタログポケット」を導入し、「市民と市政」等の情報発信を行っている。LINE等については、民間ツールの活用については、セキュリティ面、費用対効果等を総合的に判断し、電子申請の多様なツール活用の可能性を探りたい。

効率的な広域行政

副市長 更なる消防広域化を提案するが、所見は。

消防長 持続可能な消防体制を確立するためには、消防指令事務の共同運用など、関係市の合意が得やすい議論から始めることが得策と考えている。今後、射水市を含めた消防広域化について、その議論の中で意見を交換し、効率的な広域行政を研究したい。

SDGsの推進

副市長 個人・団体と連携し、SDGsを広く周知しては。

副市長 市内においてSDGsの趣旨に賛同して活動している個人・団体と連携できるような、次期総合戦略や総合計画の施策への反映を進め、その取り組みを市ホームページなどで市民等へ周知したい。今後、市役所1階ロビーでPR動画を流すことにより、市民の皆様にもSDGsを身近に感じてもらいたい。



更なる消防広域化を

広告

宝くじ公式サイトで宝くじを購入できるようになりました!

宝くじ公式サイトはコチラから



お得な特典、便利なサービスいろいろ! 宝くじ公式サイト会員登録ステップ

STEP1

「宝くじ公式サイト」を検索! メールアドレスの登録(仮登録)

「宝くじ公式サイト」を検索して、宝くじ公式サイトの新規会員登録ページでメールアドレスを登録(仮登録)します。

STEP2 会員情報の入力(会員登録)

- ① 入力いただいたメールアドレス宛に、メールが届きます。
- ② メールに記載されている会員登録用のURLをクリックします。
- ③ 画面に従って、氏名や生年月日等の情報を入力いただくと新規会員登録が完了します。

宝くじ宛り場でポイントをためる/つかうための手続きは以上で完了
宝くじ公式サイトでのネット購入をご利用の方は、引き続きSTEP3の手続きをお願いします。

STEP3 決済情報の入力

ネット購入をご利用される方は、宝くじを購入するための「クレジットカード情報」および当せん金のお受け取りに利用する「口座情報」をご登録ください。

以上で、カンタン・便利な宝くじの「ネット購入」がご利用いただけるようになります!

本件に関する 宝くじコールセンター TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料) TEL 011-330-0777 (有料)
受付時間 10:30~18:30 (土・日・祝日、年末年始を除く) ※電話番号を十分ご確認ください。おかけ間違いのないようお願いいたします。

委員会の動き

3常任委員会では、委員が次の観点に立って当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

◆公共交通活性化事業費について、内容及び補助金額の積算方法は。

◆事業主が退職手当や社会保険料の負担を免れるため、現在雇用している職員を再度任用する際、任用終了日と新たな任用開始日の間に空白期間を設けることは、適切ではないとの指摘がある。会計年度任用職員制度を導入する上で本市の見解は。

年の家」を「文化芸術館」に名称変更して運営することであるが、運営者に変更はあるのか。

◆「国吉義務教育学校」という学校名に決まった経緯は。また、地域からは他にどのような名称の提案があったのか。

○民生病院常任委員会

◆小規模多機能型居宅介護施設が廃止になったことに伴う、老人福祉費の国庫支出金等返還金443万5千円が計上されているが、廃止となった理由は。また、事業者から返還金を返してもらえない見込みはあるのか。

○産業建設常任委員会

◆中心市街地の住民においても、高齢化が進んでおり、御

旅屋セリオに歯科や小児科、内科などの医療機関が入居することも望ましいと考えるが、見解は。

◆木造住宅耐震改修支援事業費について、耐震改修を希望する方の増加に伴う補正予算



賑わいをみせる福岡町つくりもんまつり

が計上されているが、この事業の目的と昨年度の支援実績及び増加の要因は。

◆中心市街地の状況変化に対応するため、御旅屋駐車場及びオタヤグリーンパーキングの料金改定を行うとのことだが、今回の料金改定でどのような効果を期待しているのか。

◆市営駐車場の料金改定により、民間駐車場の経営を圧迫すると考えるが、民間駐車場との連携についてどのように考えているのか。

◆御旅屋特定公共賃貸住宅エールパセオハイツにおいて、單身世帯も入居できるように、条例改正することだが、高額な家賃設定や共益費、駐車場代などを見直さなければ入居者の増加は見込めないと考えるが、見解は。

編集後記

令和元年9月に台風15号が首都圏に上陸し、千葉県では未だかつてない、長期に渡る大規模停電が発生しました。被害を受けられた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

今定例会は、大和高岡店の閉店後初めての議会というところもあり、御旅屋セリオを核とした、中心市街地活性化に関する質問が数多くなされ、議論が繰り広げられました。一方で、将来の人口減少にいかに対処するかという観点で、「SDGs」や「ソサエティ5.0」といった、新しいジャンルの質問もされ、5GやICT技術を活用した新しい時代の流れを施策に取り入れていく必要性についての答弁もなされました。

目先の問題解決はもちろん大事ですが、「日本遺産のまち高岡」が将来にわたり、維持・発展できるよう、議会としても、しっかりと努力してまいります。

★編集委員

◎数中 ○角田

高瀬、山口、中村、高岡、酒井、横田、上田、吉田

(◎委員長 ○副委員長)

12月定例会の予定

12月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、11月22日開催予定の議会運営委員会で決定されます。

- 2日 9時 代表者会議
- 10時 議会運営委員会
- 11時 議員協議会
- 13時 本会議 (提案理由説明等)
- 6日 10時 本会議 (一般質問(一括))
- 9日 10時 本会議 (一般質問(一括))
- 10日 10時 本会議 (一般質問(一括)予備日)
- 11日 10時 議会運営委員会
- 12日 10時 本会議 (一般質問(一問一答))
- 13日 9時 代表者会議
- 10時 民生病院常任委員会
- 13時 産業建設常任委員会
- 16日 10時 議会運営委員会
- 13時 総務文教常任委員会
- 19日 9時30分 委員長会議
- 10時 議会運営委員会
- 11時 議員協議会
- 13時 本会議 (議案など議決)

決算特別委員会の予定

平成30年度決算審査は、下記のとおり開催される予定です。

- 11月 7日 10時 水道病院会計 (大綱説明)
- 13時 普通会計 (大綱説明)
- 11日 9時30分 普通会計 (審査)
- 10時 水道病院会計 (審査)
- 12日 9時30分 普通会計 (審査)
- 10時 水道病院会計 (審査)
- 19日 10時 水道病院会計 (討論・採決)
- 13時 普通会計 (討論・採決)

市議会の傍聴

最近の定例会の傍聴者総数

定例会	本会議	委員会
平成30年12月	115人	5人
31年3月	99人	6人
令和元年6月	45人	6人
元年9月	72人	2人